

市長への提言 令和元年6月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
カード型障害者手帳の発行の実施について	カード型障害者手帳の発行を問い合わせしましたが、発行する予定が無いとのことでした。障害者手帳を利用する立場としては、便利になるので、自治体として積極的に発行できるようにして欲しいです	身体障害者手帳および精神障害者保健福祉手帳につきましては、平成31年4月1日から、カード形式の手帳を発行することが可能となり、本市においても、利便性などの観点からカード形式は有用であると認識しております。しかしながら、カード化により「障害の部位、名称」や「住所変更」などの記載事項が制限されることや、各自治体で様式が異なることにより予想される混乱を避けるため、大阪府下における「様式統一化」等について議論を行っているところです。様式の統一化やシステム改修、設備の整備など、カード化における課題解決を行い、発行に向けた検討を進めてまいります。	2019/4/10	2019/6/5	障害福祉室
ホームページでの問い合わせ運用	ホームページの各組織への問い合わせフォームがありますが、市民に回答がないと不信感を与えないよう、枚方市の問い合わせの運用を改善して欲しいです。担当部署の問題であれば、調査してほしいです。	本市ホームページからの「問い合わせ」メールにつきましては、「問い合わせメール処理フロー」に基づき、投稿のあった担当部署が内容確認を行い、できる限り早期に回答する運用としており、回答に一定期間を要する場合には、その旨を電話・メール等により投稿者に連絡することとしています。いただきましたご意見を踏まえ、市民に不信感を与えないよう、職員に対し「問い合わせメール処理フロー」の更なる周知・徹底に努めてまいります。	2019/4/26	2019/6/7	広聴相談課
乳がん健診の助成について	枚方市の乳がん健診の助成に係る対象年齢について40歳から対象ですが、もっと早めて欲しいです。子育てや仕事で多忙の中、高額な自己健診では受けようと思えないです。	乳がん検診につきましては、がんの早期発見・早期治療に結び付けるため、健康増進法に基づき、実施しております。対象者は、国の指針に基づき40歳以上としており、40歳未満の方は早期に乳房の変化やしこりの発見ができるよう、自己触診の方法を周知するなど、知識の普及啓発に努めているところです。今後も、乳がん検診受診の勧奨と、自己触診の周知をすすめ、一人でも多くの人が早期にがんの発見ができるよう取り組んでまいります。	2019/5/9	2019/6/20	保健センター
保育所問題について	保育所入所の点数について基準を見直して欲しいです。兄弟加点、多子加点等を見直して、産休・育休制度がない自営業の場合にも不利にならないようにして欲しいです。	保育施設入所に係る「兄弟加点」につきましては、兄弟姉妹別施設による送迎時の保護者の負担を鑑みて、同じ保育施設をご利用できるよう加点を行っていますが、入所定員枠等から、ご希望に沿えない場合があります。自営業事業主の産前産後休業・育児休業明け加点につきましては、事業主は育児休業する期間を自らで決めることができるため、現状においては、自営業事業主の加点を行っていない状況です。いただいたご意見を参考に、今後も市民の皆様へ充実した子育て環境を提供できるよう取り組んでまいります。	2019/5/9	2019/6/20	保育幼稚園課
子育て家庭へのサポートの向上について	子育て家庭へのサポートを向上して欲しいです。保育所の送迎を徒歩で行うサービスは有料ですが、車を運転してもらおうサービスがありません。	子育て家庭へのサポートにつきましては、援助の必要な子育て家庭と、援助を提供する有償ボランティアを結ぶ「ファミリーサポートセンター事業」を実施しております。預かりだけでなく、保育施設等への送迎サポートも対象としておりますので、条件等の詳細については担当部署にお問い合わせください。	2019/5/9	2019/6/20	子育て事業課
学校PTA運営について	学校PTAについて、運営の在り方の見直しを、枚方市や市教育委員会の主導で着手してもらえないでしょうか。子どもとは関係のない行事や、効率化すれば、かなり作業内容を減らせるものでも、年度毎に、集められたメンバーが、昨年の担当者からの引き継ぎを元に行うため、常に前年度を踏襲することになり、保護者側の大きな負担です。各組織が動きかけを、枚方市から作ってもらえたらと思います。	ご提案は、大きな時代の流れを踏まえて、PTAの各組織が効率的かつ効果的な事業を実施し、より良い運営を目指すためのものであると認識しております。本市としては、ご提案について、教育委員会を通じて、「枚方市PTA協議会」にお伝えさせていただきます。なお、PTAは、教育委員会の事業にご協力いただいている任意の団体であることから、教育委員会や枚方市が、その運営について直接指導する立場にない団体であるという点につきましては、ご理解いただきますようお願いいたします。	2019/5/14	2019/6/5	社会教育課
選挙投票所(小学校)の北門の開放について	選挙投票所(小学校)について、体育館のある北門からも出入できるようにしてほしい。	当該小学校と調整を行った結果、北門からの出入りができることとなりましたが、今年の夏季休業期間に校舎の改修工事を予定しています。その作業の進捗状況等により、投票に来られる方への安全確保の観点から、正門からの出入りに限らせていただく場合がありますので、ご理解ください。今後も、市民の皆様からのご意見等を踏まえ、投票所環境の向上に努めるとともに、公正かつ適正な選挙事務の管理執行を行ってまいります。	2019/5/16	2019/6/4	選挙管理委員会事務局

市長への提言 令和元年6月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
シティマラソン大会について	春に交野マラソンがありますが、秋に枚方市でマラソン大会を開催して、地域の活性化を図るのはいかがでしょうか。山田池公園や淀川といった場所ではなく、交野マラソンのように道路を使ったシティマラソンがよいと思います。	「秋のシティマラソン大会」につきましては、気候の良い時期に開催することで、市外からも多くのランナーの参加が予想され、沿道で気軽に応援できることから、地域の活性化に繋がるものと認識しております。今後、観光施策、賑わいの創出を検討するに当たり、候補の一つとさせていただきます。 なお、「賑わいづくり」や「地域の活性化」に繋がる秋のイベントとして、枚方街道菊花祭をはじめとする「菊フェスティバル」や、「ふとん太鼓巡行」などの開催を予定しております。	2019/5/17	2019/6/24	スポーツ振興課 ひらかた賑わい課
長尾の土地開発の中止について	長尾周辺の田畑では埋め立てなどの開発が急激に進んでおり、田畑があり緑が綺麗な景観が損なわれつつあります。枚方市で景観を保ちつつ土地を活用する施策をして欲しいです。	本市としても、長尾地区に限らず、将来に渡り田畑など緑のある綺麗な風景が続くことを望んでおります。 土地の利用に関しては、「市街化区域」と「市街化調整区域」があり、市街化区域では、商業・工業・住宅など「用途区域」が設定され、それぞれに適切な環境を保全しながら開発が促進される仕組みとなっています。一方、「市街化調整区域」では、住宅開発等が抑制される区域となっています。 本市としては、「市街化調整区域」内の田畑が保全されるよう、土地所有者にご協力いただき、緑のある風景を保つための様々な取り組みを行っていますが、土地所有者の高齢化や後継者不足から、維持保全が困難な田畑が多く見られ、やむを得ず土地を手放し、緑が減っていく現状もあります。 土地購入及び維持管理に必要な「財源の確保」と、田畑を維持する「人材の確保」など、市で計画を進めるには様々な課題が生じることとなります。 そのため、市が実施することは困難な状況ではありますが、ご要望があることを常に念頭に置きながら、これからも緑のある綺麗な風景を保つことができるよう努めてまいります。	2019/5/20	2019/6/20	農業振興課 開発審査課
横断歩道の設置について	居住地の向かいにある銀行に行く際に、横断歩道がなく、大きく迂回しなければならず、不便です。なにか対応してもらえないでしょうか。	横断歩道の設置については、警察が行っていることから、担当部署より警察へお伝えしました。 警察としては、車両の通行量と道路を横断する人数、人の待つスペースなどの様々な要件に基づき、横断歩道の設置を判断することとしており、ご要望の箇所は、横断者数が多いとは言えず、東西の信号機付きの横断歩道からの間隔が狭いことから、設置は困難であるとのことでした。また、横断歩道を設置することで、車両の円滑な通行を妨げ、渋滞や事故の原因にもなるため、要件に満たない横断歩道については、つくるものではないとの見解を示されています。	2019/5/21	2019/6/19	交通対策課
小中学生の自転車のヘルメット着用について	子どもが放課後に遊びに出かける時や習い事へ行く時に、自転車に乗っていますが、ヘルメットを着用してくれません。近所でも、自転車に乗っている子どもで、危険な運転を見かけます。他の県ではヘルメットの着用が決められている様ですが、枚方市でも義務付けできないでしょうか。学校からの指導が入れば、きっと子どもたちは、ヘルメットを着用すると思います。	近年、自転車の危険な走行が社会問題化し、様々な事故やトラブルが発生していることから、本市では、自転車の事故防止、自転車運転者のマナー向上のため、警察署や各交通安全団体と連携し、自転車安全利用の推進に取り組んでおります。 全市立小学校においては、「歩行交通安全教室」と「自転車交通安全教室」を実施し、「自転車乗用時のヘルメット着用」をはじめ、自転車を安全に運転する方法や安全確認等について、実技講習を通じて子どもたちの安全意識の向上に努めております。 今後も引き続き、子どもたちが自転車事故・トラブルに巻き込まれることがないよう、安全教育の充実を図ってまいります。	2019/5/21	2019/6/20	交通対策課 児童生徒支援室
小学生の朝の登校の見守りについて	小学生の登校時の見守りについて、市の協力をお願いしたいです。補助金などの財政的な援助や、道路へのスクールゾーンのマーキングなど、何でも結構ですので市の援助してもらい、未来を担う子ども達を事故から守ってほしいです。	本市では、小学校区などにおける通学路の安全確保に向けた方針として「枚方市通学路交通安全プログラム」を策定しており、このプログラムに基づき、道路管理者・警察・教育委員会で構成する「通学路安全対策連絡会議」を設置し、定期点検の他、小学校から通学路における危険箇所の報告を受けた際には、必要に応じて合同点検を実施しております。 点検結果から対策が必要な箇所については、歩道整備や防護柵設置、グリーンライン等のハード面での対策や、交通規制・交通安全教育等のソフト面での対策など、具体的な実施方法・実施時期等を検討し、対策を講じているところです。 今回いただいたご意見は、教育委員会から小学校へ伝えるとともに、具体的な危険箇所につきましては小学校にもご相談いただき、危険箇所として対策等を検討してまいります。 今後も引き続き、児童生徒が安全に通学できるように、関係機関と連携して、通学路の安全性の向上に取り組んでまいります。	2019/5/21	2019/6/19	児童生徒支援室
市立体育館の駐車場有料化	駐車場が有料化されたことで渋滞や利用料金が高すぎるなど弊害が出ています。このまま駐車料金をとるのであれば、公共交通機関の見直しやシャトルバスの運行を考えるべきです。	市有施設の駐車場の有料化につきましては、平成27年度に策定した「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方」に基づき、利用される方に一定のご負担をお願いすることで受益と負担の適正化を図り、目的外利用や長時間利用などの課題を解決し、円滑に駐車場を利用いただけるよう進めてきたものです。 ご指摘の渋滞については認識しており、対応策として、渋滞抑制のため、施設利用者に対し自転車やバイクでの来場、車の乗り合わせなどにご協力いただくようお願いをしております。 また、大会等で混雑が予想される日程には誘導員を配置するとともに、出庫時の精算が円滑に行える電子マネーによるキャッシュレス精算の周知を行っていくほか、混雑の緩和に向けた施設整備についても、検討を進めているところです。 なお、利用料金については、施設の管理経費などに活用し、施設全体のサービス向上を図り、駐車場の効率的な管理運営に努めてまいります。	2019/5/22	2019/6/24	スポーツ振興課
駐車料金	公園や病院は公共施設であるのに、駐車場料金が発生するのはいかがなものかと思えます。市は利潤を追求するためではなく、公共団体にしかできない、生活に潤いをもたらすのが役割だと考えます。	市有施設の駐車料金につきましては、市有財産の一定のスペースを占有するための「受益者負担」と、目的外利用などの課題を解決し、円滑に駐車場の利用に供するための「駐車場管理の適正化」、また、公共交通機関等の利用者との均衡を踏まえ、ご負担をお願いしているものです。 有料化にあたりましては、車以外の移動手段を用いることが難しい障害者(児)が主に利用する施設、駐車場の設置目的が送迎等による短時間利用が主となる施設、駐車台数が10台以下の施設については対象とせず、施設ごとの利用状況など個別の事情も考慮しながら総合的に判断し、実施しております。	2019/5/27	2019/6/26	行革推進課

市長への提言 令和元年6月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
水道民営化	水道民営化法案が可決されましたが、枚方市は、公の健康を守るためにも、市できちんと管理していただきたいと思ます。	「水道民営化」につきましては、水道事業の経営における、選択肢がひとつ増えたものであると認識しております。水道事業は、極めて公共性の高い市民生活に直結する事業であり、市直営、民営に関わらず公共性・公平性・公益性を保ちつつ、健全な経営のもと持続していく必要があるものと考えております。	2019/5/27	2019/6/26	上下水道経営室
窓口職員の名札着用及び保育所入所申込説明について	入所申込説明を受けた時、「保育士のこどもに係る優先利用(調整点加点)」の制度について、他市の状況を調査されたのでしょうか。調査しているのであれば、なぜ、このような状況となっているのかお聞かせください。	近隣市の状況につきましては調査をしており、大阪府下のほとんどの自治体が本市と同様に市内の保育施設に勤める保育士に加点をつけている状況です。 現在、本市は広域的な待機児童の解消を見据えて、大阪府下の各市町村間で連携・調整に向けた協議を行っています。待機児童の解消に向けた取り組みを進める一環として、保育士確保策にも取り組んでいるところです。市内の保育所等へ勤務する保育士に対して、調整点への加点を行うなど段階的に進めております。今後も市民の皆様が充実した子育て環境を提供できるよう取り組んでまいります。	2019/5/27	2019/6/4	保育幼稚園課
地域住民一体となった子どもの見守り活動について	保育園児・小学生等の通園・通学の事件・事故が多発しているため、通学路に面する家庭において、各家庭内の者(退職したお年寄り等)が、門前に立ち、子ども達を見守る制度を作ってはどうか。目印に、カラー帽子やジャケット又は腕章等を、該当する家庭に配布し、実施すれば、子ども達も安心し、又は不審者による事件抑止につながると思ます。	本市では、「枚方防犯協議会」に対し、防犯活動に必要な帽子やベストの配布等を行い、同防犯協議会や警察等と合同で、防犯パトロールやキャンペーン活動等を行っています。さらに、神奈川県川崎市での事件発生後には、同協議会にお願いし、登下校時の見守り活動や青色防犯パトロール車によるパトロール活動の強化等にご配慮をいただいております。 次に、通学路の安全確保につきましては、「枚方市通学路交通安全プログラム」に則り、小学校から危険箇所への報告を受けた際には、道路管理者・警察・教育委員会と連携し、必要に応じて合同点検を実施しております。点検結果から対策が必要な箇所については、歩道整備や防護柵設置、グリーンライン等のハード面や、交通規制・交通安全教育等のソフト面で、具体的な実施方法・実施時期等を検討し、対策を講じているところです。 今後も引き続き、児童生徒が安全に通園・通学できるよう、通学路の安全性の向上に取り組んでまいります。	2019/6/3	2019/6/26	危機管理室児童生徒支援室
免許返納者に対する配慮について	高齢者の運転による交通事故が多発しているため、運転免許証を返納しましたが、一番不便を感じていることは交通手段です。高齢者なのに、一般利用者と料金が同一であり、返納したメリットを感じません。現在行われている、商品の割引特典よりも、交通手段の割引制度を策定することで、高齢者の運転免許証の返納率の向上を目指してはいかがでしょうか。	高齢者が外出して人と交流することが健康寿命、介護予防の推進につながるといった観点から、本市では、高齢者が外出する機会を増やすための仕組みとして「高齢者お出かけ推進事業」を実施しています。 この事業では、65歳以上の方を対象に「高齢者お出かけ推進手帳」を配付し、介護予防のイベントや各種講座等への参加に対してポイントを付与し、貯まったポイントは、楽寿荘・総合福祉センターの施設使用料として使える「高齢者お出かけ推進チケット」への交換のほか、「ひらかたポイント」への交換も可能としています。 この「ひらかたポイント」では、高齢者運転免許証の自主返納に対して、「1,000ポイント」を付与していますが、平成31年4月から京阪バスポイントに交換できるようになり、京阪バスポイント(運賃として利用可能)として外出時にご利用いただけるようになりました。少子高齢化社会が進展し、今後、高齢者の免許証返納が増加することが予測されることから、ご提案いただいた内容も参考にしながら、高齢者の皆様が安心して外出できるよう、検討を進めていく必要があると考えております。	2019/6/3	2019/6/20	ひらかた魅力推進課農寿社会総務課
バス停の簡易設備設置について	京阪バスのバス停ですが、病院や高齢者施設の前にあるのに、屋根やベンチがなく、お年寄りが利用する際に苦慮しています。現地調査の上、簡易的な屋根・ベンチ等の設置を希望します。	ご意見をいただきました当該地につきましては、歩道のない道路であることから、車道にバス停の「屋根」や「ベンチ」を設置することは困難であると考えております。	2019/6/3	2019/6/4	道路河川管理課
災害避難所について	自治会の災害時の避難所が磯島小学校になっていますが、徒歩で30分以上掛かり、避難が困難です。清西中学校であれば近いですが、第2次避難所となっています。第1次避難所にてできないでしょうか。	本市では、53箇所を「第1次避難所」として指定しており、災害などの緊急時には、担当の市職員を派遣し、避難所を開設しております。 当該中学校につきましては、第1次避難所が損壊等により使用できない場合や、避難者が集中し受け入れができなくなった場合に開設する代替施設として、「第2次避難所」に指定しております。それぞれの避難所については、異なる役割があることから、現時点では「第2次避難所」を「第1次避難所」に指定変更することは困難と考えております。 しかしながら、高齢の方に早めに避難していただくために、お住まいの近くに避難所を設けることは、災害の被害を最小限にとどめるために大変有効であり、地域によっては、自治会館や集会所を一時的な避難場所に決めておられたり、近隣の事業所と避難協定を交わされている事例もあります。 今後も、共助の観点から、こうした地域での防災活動についても啓発に努めてまいります。	2019/6/5	2019/6/28	危機管理室
台風被災建物補助金について	台風で被災し、補助金の申請をしたかったのですが、どこの工務店も工事依頼が殺到している状況であり、工事の見積もりを出してもらったのが4月でした。3月末までの申請期限について、延長してもらえないでしょうか。	被災建物修繕補助金制度は、「大阪北部地震」、「台風21号」等により被災した建物を修繕せずに放置することが原因で発生する二次被害を防止するとともに、被災建物及び市民の安全を確保するため、早急な修繕の実施を促進する必要性から、平成30年度に限り創設したものです。 手続につきましては「枚方市被災建物修繕補助金交付要綱」等において規定しておりましたが、同要綱は平成31年4月1日をもって効力を失っていることから、新たな申請については、受付できない状況となっております。 いただきましたご意見につきましては、誰もが安全で安心して暮らすことができるよう、今後の施策の参考とさせていただきます。	2019/6/5	2019/6/20	大阪北部地震等被災者支援対策室

市長への提言 令和元年6月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
市役所1階について	市役所1階はバリケードを張って職員が見えないようにしているのはどうしてですか。感じが悪く、さほりを見えなくしているようにしか思えないです。高槻市、芦屋市などのように全体が見渡せるようにして欲しいです。	市役所庁舎本館及び別館につきましては、ほとんどの部署において、窓口から執務スペースが見渡せるオープンなレイアウトにしております。しかしながら、機密性の高い業務を取り扱っている「会計課」などの部署については、閉鎖的な執務室とし、安全性の確保に努めております。 また、別館1階の生活福祉室執務スペースにつきましては、廊下側に天井付近までの高さのロッカーを設置していることに加え、カウンター付近に衝立を設置しているため、外側から執務室内が見通しづらい状況となっております。 これは、生活福祉室で取り扱っている生活保護業務では大量の常用書類の保管場所が必要なことから、執務スペースの関係上、やむを得ず廊下側にロッカーを設置しているものです。衝立については、プライバシーの保護に加え、安全面等、職員の執務環境の確保についても総合的に判断して、カウンター付近に設置しているものです。 ご懸念の点につきましては、そのようなことがないよう窓口サービスの向上等に努めてまいりたいと考えております。	2019/6/11	2019/6/26	生活福祉室
健康ホットライン24について	「ひらかた健康ほっとライン24」のメンタルヘルスの回線についていつも混んでいて相談できないです。対応者の数が足りないのではないのでしょうか。	早急に回線を増設することは困難ですが、「ひらかた健康ほっとライン24」の受託事業者に対し、引き続き、電話が繋がらない状態を回避するための相談員の適切な配置を指示しました。 加えて、「ひらかた健康ほっとライン24」は、同じ相談員が継続して相談を受ける相談窓口ではありませんので、本市が設置している他の相談窓口も必要に応じて活用していただきますようお願いいたします。	43628	43630	保健企画課